

2021

校内研究全体計画

《目次》

1. 3年間を通じた研究主題と設定理由
2. 教科設定の理由
3. 年間を通して目指す児童像
4. 研究仮説
5. 研修計画
6. 研究組織及び運営
7. その他



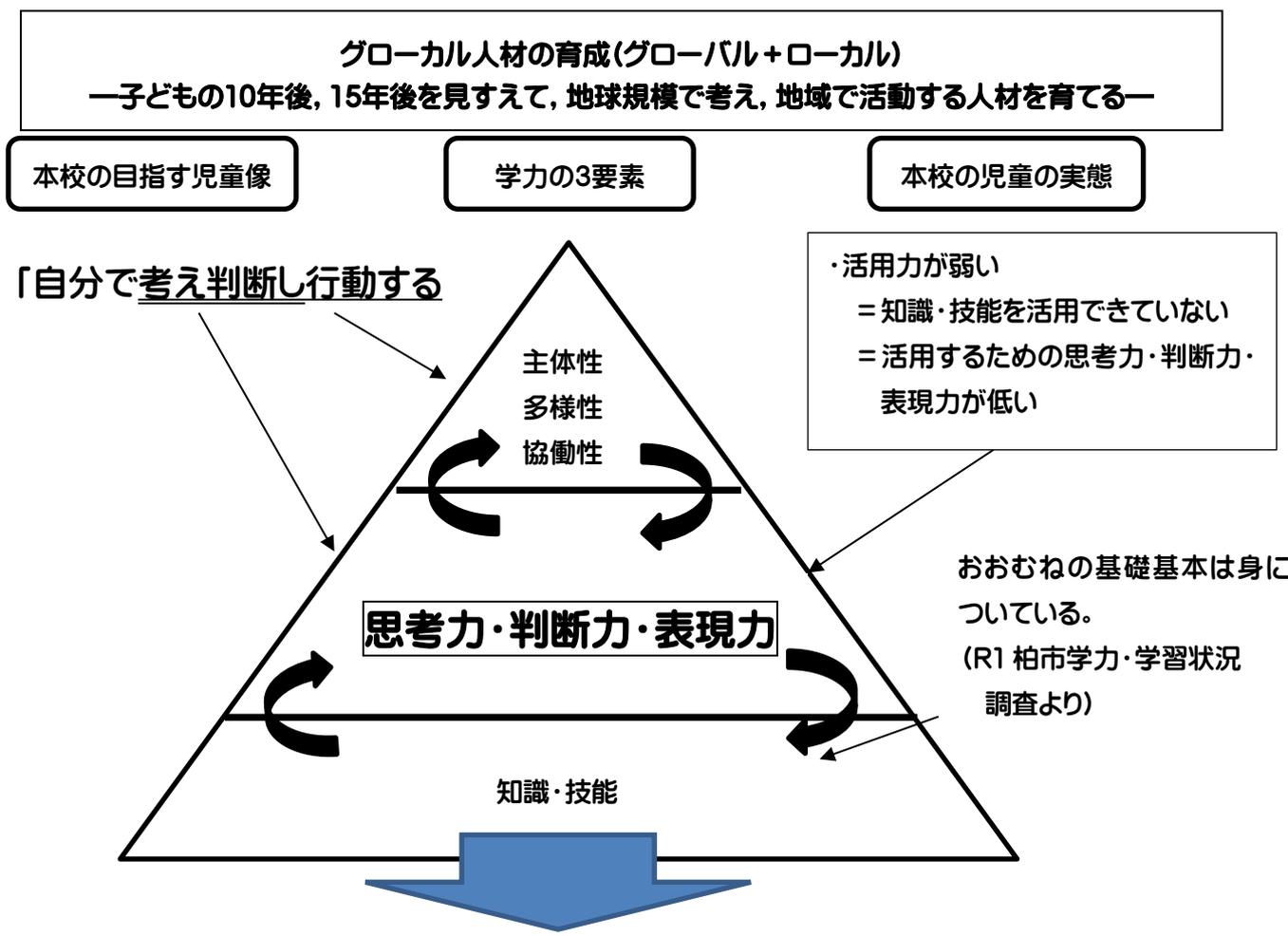
【ファイルにとじていくもの】

- ・全体計画
- ・年間学習指導計画
- ・四小スタンダード
- ・その他
(研修で使った指導案や資料, ワークシートなど)
ふり返られるようにまとめてください。

柏市立柏第四小学校

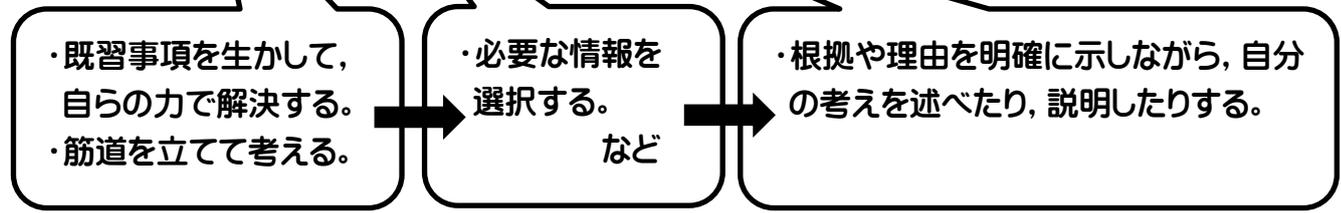
1. 3年間を通した研究主題と設定理由

柏第四小学校 学校教育目標



研究主題
思考力・判断力・表現力を育成する指導法の工夫

2. 教科設定の理由



算数科学習指導要領第2章第2節より

「算数科の目標の中核には、筋道を立てて考える力の育成を目指すことがある。」

「算数科の学習では、言葉による表現とともに、図、数、式、表、グラフといった数学的な表現の方法を用いることに特質がある。このような多様な表現を問題解決に生かしたり、思考の過程や結果を表現して説明したりすることを学ぶ。」

以上より、研究主題を達成するために、「算数科」が適していると言える！！

3. 3年間を通して目指す児童像

		低学年	中学年	高学年
学びの姿		<ul style="list-style-type: none"> ・算数を楽しめる子 ・自分の考えを表現し、伝え合う子 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を意欲的に解決しようとする子 ・自分の考えを根拠をもとに進んで表現する子 ・友達の考えを積極的に聞き、自分の考えを深められる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもち、意欲的に解決しようとする子 ・筋道を立てて、自分の考えをわかりやすく表現する子 ・友達の考えを聞き、自分の考えと比較してよりよい方法を考えようとする子
研究の方法	手がかり	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を明確にする。 ・学年で共通のノートの書き方で指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の問題解決ができるように既習事項を掲示する。 ・わかりやすいノート作りをさせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の手がかりとなる掲示物を掲示する。 ・わかりやすいノート作りをさせるようにする。
	課題提示	<ul style="list-style-type: none"> ・教具の提示の工夫をする。(ICTの積極的な活用) ・教材教具の研究をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物、ICTの活用。教材教具の研究をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物、ICTの活用。教材教具の研究をする。
	時間	<ul style="list-style-type: none"> ・時間配分を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間配分を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間配分を工夫する。
	表現の仕方 比較検討の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を操作させ、図や言葉で表現させる。 ・言い出しの言葉を用意し、その言葉を使って自分の思いを表現させる。 ・児童と共に表現の工夫を考え、表現の幅を広げる。 ・児童から出てきた意見の同じところ・違うところを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい表現の仕方をしている児童を紹介しながら授業を進める。 ・目的を持たせてペアやグループトークをさせる。 ・的確な場面で話し合いを設ける。 ・基本的な発表の工夫を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・式、算数用語を使って表現させるようにする。 ・友達の意見の聞き方の観点を明確にさせる。 ・指名計画を工夫し、表現活動を活発にさせる。 ・話し合いのルールを徹底させる。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自力解決が難しい児童に対しての支援の方法を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時を振り返る時間を設け、学習内容を確認させる。

4. 研究仮説 (2021年度 算数科1年目)

算数科を通して、自分の考えを数学的に表現することができれば、思考・判断・表現する楽しさや達成感を味わうことができるだろう。

5. 研修計画

(1) 3年計画

研究主題：思考力・判断力・表現力を育成する指導法の工夫

1年目 (基礎作り)	研究副題	～自分の考えを、数学的方法を使って表現しよう～
	研究の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な操作活動を取り入れ、まず自ら考える時間を確保する。 ・数人の児童の考え方を手本として提示し、いろいろな表現方法(図、式、表など)を学ばせる。 ・板書、発問計画、ノート指導、ワークシートなど、わかりやすい授業のための支援を工夫する。
2年目 (基礎～応用)	研究副題	～自分の考えを相手に伝えよう～
3年目 (最終年度)	研究副題	～自分の考えが相手に、より伝わる工夫をしよう～

※2年目、3年目の研究副題は、1年目終了後の実態に合わせて変更する。

(2) 年間計画

月	算数科	その他	形態	助言者
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の研究について ・年間計画作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・四小スタンダード確認 ・エピベン講習会 	推進委員会 学年・学団	校長, 教頭, 教務
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・研究全体会 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の年間指導計画見直し ・ITアドバイザー研修(1人1台端末) 	推進委員会 学年・学団 全体会 学年・学団	校長, 教頭, 教務
6月 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・算数科指導主事による研修(研究主題に沿った指導法と算数科の評価法について) 	<ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生法講習会 	学団・学年 全体会	校長, 教頭, 教務
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・三校合同研修(不祥事研修) 	学年・学団	
9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期の研究の確認と見直し ・校内研に向けて(指導案作成・検討) 		推進委員会 学年・学団	校長, 教頭, 教務
11月 ～ 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり一授業一実践 		学年	校長, 教頭, 教務
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・研究全体会(実践発表会) ・次年度に向けて 		推進委員会 全体会	校長, 教頭, 教務

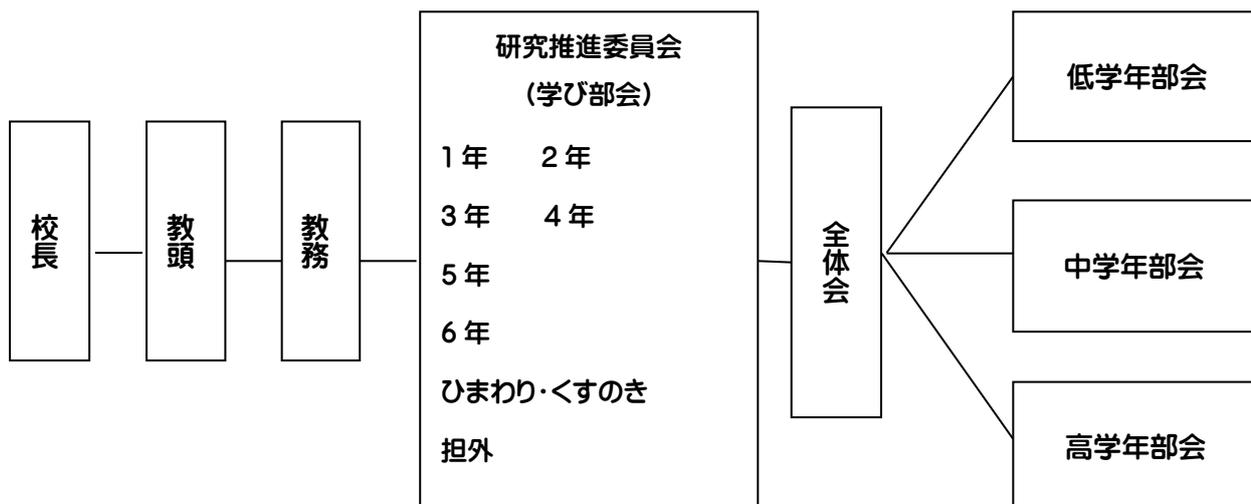
* 研修日においては、学年部会や各部会を必要に応じて設定する。

* 公開研究会には、できるだけ積極的に参加する。

* 希望があれば、実技研修も実施します。(図工や体育など)

6. 研究組織及び運営

(1) 組織



(2) 運営

- ・研修日は設けない。学年・学団で週に一度計画して行う。
- ・全体会は必要に応じて開催し、研修計画、研修にかかわる内容などの決定及び確認の場とする。
- ・学び部会は必要に応じて随時開催し、各学年の研修の責任者が参加する。校長、教頭、教務主任は必要に応じて参加する。
- ・学び部会は、学年及び学団の研究の推進、連絡、運営に努め、使用教材等の保管を確実にを行う。
- ・1学期は、指導主事や ICT アドバイザーによる研修を行い、2・3学期に各学年で授業研究会を行う。
- ・支援級は、教科をしぼらずに研修を行う。

7. その他

(1) 授業の流れについて (H27年度柏四小研究紀要より)



(2) ノート指導について (H27年度柏四小研究紀要より)

「問題～まとめ」の流れが一目で分かるようにする

